

科学研究費助成事業 研究成果報告書



令和 4 年 6 月 22 日現在

機関番号： 3 2 6 4 9

研究種目： 奨励研究

研究期間： 2020 ~ 2020

課題番号： 2 0 H 0 0 7 1 8

研究課題名 風水害防災の現状に関する私立大学への調査と避難行動に繋がる防災教育の実践

研究代表者

角田 浩司 (KOJI, TSUNODA)

東京経済大学・総合企画課・事務職員

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 450,000 円

研究成果の概要：近年気象擾乱による大規模な災害が続き、雨風による被害だけでなく停電も含めたマルチハザードと言える激甚災害がしばしば起こる現状を踏まえ、本研究は、風水害に対する大学構成員（教職員、学生）の防災意識を育み、また避難行動を身につけることができる防災教育プログラムの開発・実践を行った。サイエンスコミュニケーションの手法を利用することで、自主的に考え、主体的に行動できるプログラムを開発することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究調査として、風水害を中心とした防災意識の現状を調査するアンケート調査を行なった。また私立大学を対象とした風水害に関する対策や防災教育の取り組みについてのアンケート調査を行なった。大学構成員は、地震災害に関する意識は高いものの、風水害に関する防災意識は必ずしも高いとは言えず、また大学組織の風水害対策が十分ではない現状が確認できたことは、私立大学の今後の防災に寄与する成果であると言える。また、サイエンスコミュニケーターとして活動する気象予報士の研究協力を得て、サイエンスコミュニケーションの手法を利用した防災教育プログラムを開発したことは、私立大学の防災教育に寄与する研究成果であると言える。

研究分野： 防災教育

キーワード： 防災教育

1．研究の目的

本研究は、近年気象擾乱による大規模な災害が続き、雨風による被害だけでなく停電も含めたマルチハザードと言える激甚災害がしばしば起こる現状を踏まえ、大学構成員（教職員、学生）の防災意識を育み、また避難行動を身につけることができるよう、風水害を対象とする防災教育プログラムを開発・実践することを目的に行った。

2．研究成果

研究調査として、風水害を中心とした防災意識の現状を調査するアンケート調査を行なった。また併せて私立大学を対象とした風水害に関する対策や防災教育の取り組みについてのアンケート調査を行なった。大学構成員は、地震災害に関する意識は高いものの、風水害に関する防災意識は必ずしも高いとは言えず、また大学組織の風水害対策が十分ではない現状が確認できた。これらをもとに、マスメディアに出演しサイエンスコミュニケーターとして活動する気象予報士と情報交換を行い、また研究協力を得て、サイエンスコミュニケーションの手法を利用した防災教育プログラムを開発した。この教育プログラムを大学構成員を対象として実践した。この防災ワークショップ及び防災講座により、大学構成員の防災に関する知識が深まることが確認できた。

主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 1件）

1．著者名 角田 浩司、伊藤 優香	4．巻 -
2．論文標題 風水害防災の現状に関する私立大学への調査と避難行動に繋がる防災教育の実践	5．発行年 2022年
3．雑誌名 東京経済大学人文自然科学論集	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

研究組織（研究協力者）

氏名	ローマ字氏名
新正 裕尚	(SHINJOE HIRONAO)
伊藤 優香	(ITOU YUUKA)